



文化活動やボランティア活動を積極的に支援しています。

日本の美しい海や環境を守るためにさまざまな活動が行われています。また、海との関わりをもち、それに挑戦する人がいます。マイカルグループでは、海の未来のための活動が一人でも多くの人に広がってほしい、そして大きな社会的文化活動に育ってほしい、そんな願いから積極的な支援を行っています。

海の自然を守り、海の素晴らしさを伝えるために、積極的な活動を行っている方々に贈る「朝日・海とのふれあい賞」。

「海への関心を高めるとともに海の自然を守り、海への環境保護に優れた活動を行った個人や団体を表彰する」という主旨のもと創設された「朝日海への貢献賞」に特別協賛を行ってきました。'98年度は、賞の対象分野を海だけに限定せず、海をベースとしながら、海につながる河川や森などで活動している団体、個人からも幅広く募集するとともに「海への貢献部門」と「マイカル海大好き部門」の2部門を設け、学術的研究やボランティア活動から海を楽しむレジャー活動まで、幅広いジャンルの方々を表彰するため「朝日・海とのふれあい賞」に名称変更しました。応募件数は昨年よりも増して157件あり、2部門の賞が13の団体・個人に贈られました。今回の応募数から、多くの人々が海に特別の愛着を抱き、その保護に尽くしている姿を知ることができました。これからも海とのふれあいを通じて、海の楽しさ・素晴らしさを体験している団体や個人を表彰することにより、海への関心を高めていきます。

海の動物ミニチュア博物館



沖の島サンゴを見守る会



スノーケリング自然観察研修会

AQUART



SANO MAGIC

第1回 朝日・海とのふれあい賞 各賞受賞者

海への貢献部門

海への関心を高め、私達ヒトとの関係を見直し、海と共生してきた文化を問い直すとともに、海の環境保全に寄与するきっかけとなることを目指した賞です。海や河川において、全国各地で繰り広げられている市民活動やふれあい学習、研究活動など、ジャンルは問いません。自然に親しみ、学習意欲と創造性にあふれた活動を続ける個人や団体が対象です。

正賞
沖ノ島サンゴを見守る会
代表・三瓶雅延(千葉)

準賞
スノーケリング自然観察研修会
主催・南伊豆海洋生物研究会(静岡)
御蔵島バンドウイルカ研究会
代表・岩谷孝子・菱井徹(東京)

マイカル海大好き部門

海を身近に感じていただくとともに、海での活動を広く紹介し、さらに海での活動の輪を広げ、参加性・継続性のある活動の支援を行いたいと創設された賞です。伝統の技(漁業・舟)、芸術(写真・絵画・音楽)、スポーツ、文化、教育、祭り、環境・生物保護などの各分野で、海とのふれあいを通じ、海の素晴らしさを体験している個人や団体が対象です。

黒潮シーカヤックシンポジウム
黒潮シーカヤックシンポジウム実行委員会(滋賀)
海の動物ミニチュア博物館
高橋俊男(北海道)
海のテーマトーク
坂本文江(島根)
SANO MAGIC
佐野末四郎(東京)
海と遊ぼう720 キャンペーン
海体験協力艇(東京)

AQUART
AQUART実行委員会(京都)
泳げる中海を取りもどすためには
彦名地区チビツ環境パトロール隊(鳥取)
音風景から浜辺を蘇らせる活動
小松正史(大阪)
松太枝浜の自然を守る児童会活動
高岡市立太田小学校児童(富山)
高田松原とその周辺の清掃
岩手県立高田高等学校生徒会(岩手)

審査員紹介

秋道 智彌
国立民族学博物館教授
嘉田 由紀子
滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員

立松 和平
作家
中村 征夫
水中写真家

小林 敏峯
マイカルグループ代表
加畑 公一郎
朝日新聞大阪本社 学芸部長

敬称は略しています。

全日本ライフセービング選手権大会に協賛しています。

「ライフセービング」は、水辺での監視活動や水難救助から、技術向上と普及を目的に発展してきたスポーツですが、ここ数年の間にその理解や普及が急速に進んできています。毎年、サーフ・ライフセーバー(海の救助員)、ウォーター・ライフセーバー(プールなどの救助員)、ライフセービング・エレメンタリー(応急手当や蘇生法)など6つの資格の認定講習会が開かれ、有資格者も急増。「全日本ライフセービング選手権大会」は、このようなライフセーバーが12種目にわたって泳ぎ、走り、ボートを操って、日ごろ鍛えた力と救助の技を競い合うものです。万一のとき人の命を守ってくれるこのライフセービング活動の一層の普及とレベルアップ、そしてこの活動の大切さをもっと知ってもらうことを願って、マイカルグループはこの選手権大会

に協賛しています。'98年の第24回大会は神奈川県藤沢市で行われ、全国から53チーム、1,158人が参加し、高い救命技術とスピードを競いました。



室内楽の若手育成の場「リゾナーレ高原音楽祭」、「原村 夏の室内楽セミナー」ではマイカル賞も設定。

山梨県のリゾナーレ小淵沢「音楽の森ホール」で、さまざまなジャンルのコンサートを催しているマイカルグループの一員・(株)音楽の森。'93年から毎年8月に「リゾナーレ高原音楽祭」を開催しています。この音楽祭は、日本の室内楽の発展を担う若手奏者を育成し、彼らに研鑽と発表の場を与えることを目的としたものです。また、これに連動した形で開講されている「原村 夏の室内楽セミナー」では、セミナー受講生のなかから優秀な成績を修めたカルテットに「マイカル音楽賞」を授与。国際的な室内楽セミナーへの参加を支援し、次年度のリゾナーレ高原音楽祭での発表の場が与えられます。

